

花式に於ての言注意

葬式は福中氏に急転死し

法燈は禪宗寺に於ていさぐし

死に元堂には供花香燭等は法祥居士等

コトトらしルヤミの少キ元堂にあらん

花七香燭より下き物あらば難有く

頂戴出せし、銘板以て身、自ら香燭等

善上せたる百數十に奉出せし事難有

自らが世にふ奉出せし事難有

通當せよ公其團體に要附死し以の増益

には来下り幾時氏の助言を心要あり

寄附の額に香首等の總額に於て

贈儀をいし

死亡元堂は前文は型の如し

山形縣を以て於石原村首岡野虎平

七十八

喪主

長男

長女

長女

在柔港次男

妻

女婿

在柔三男

妻

高野三男

中島友治

今秋子

高野正二

出子

平嶋武雄

高野清子

買方

妻

妻百合子
有印跡 日出田力

合 ~~松~~ 松惠

外人孫

代表

一同

木下幾明

親戚代表 青内敬宗次

此の瑞谷の山岩をまもつ所に木下氏
吉田氏の承諾を得る可し

墓石を建てしつに墓石の表面

之國奇の橋所に首首の大きさにて左

字句を彫り入む一日の快楽をせし知ろがして

在来六十有余年一日の快楽をせし知ろがして

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]